

press release

国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館 特別展のお知らせ

日ごろよりお世話になりありがとうございます。

湯浅八郎記念館では、9月11日より、以下のとおり展覧会を開催いたします。

ご案内にお力添えをいただけますよう、お願い申し上げます。

特別展「松浦武四郎生誕二百年記念 ICUに残る一畳敷」

Bicentennial Anniversary of the Birth of Matsuura Takeshirō

The One-Mat Room at ICU

緑豊かな国際基督教大学（ICU）のはずれに、ひっそりと建つ「一畳敷」^{いちじょうじき}。その名のとおりに、たった一枚の畳^{いたぶち}に板縁を廻らせ、床の間と神棚、書棚をしつらえた一室で、およそ 130 年前に建てられました。この部屋の主は、幕末・明治に活躍した探険家^{まつうらたけしろう}、松浦武四郎（1818～1888）。年若い頃から憑かれたように全国を巡って多くの貴重な記録を残し、また「北海道の名付け親」としても知られています。その見聞の広さから江戸幕府、明治政府に重用されることもありましたが、辞して以降は古物蒐集にいそしみ、東京神田五軒町の自邸で好事の日々を送りました。

一畳敷は武四郎が自らの古希を記念して造った書斎です。建築に際して、かつての旅先で知り合った友人たちに各地の由緒ある社寺や歴史的建造物の古材を請う手紙を書き送り、集まった 90 もの木片を組み上げて自宅に増築しました。古くは白鳳時代にまで遡るという部材もあり、構えは狭くとも壮大な時間と空間を内包したこの一室で、武四郎は旅に明け暮れた人生を振り返り、人々との思い出を偲びつつ晩年を過ごしたといえます。

自らの死後は取り壊すようにという武四郎の遺言に反して、そのままの形で残された一畳敷は、その後、松浦家から紀州徳川家へ、さらに財閥の重役や飛行機会社社長へと所有者が代わるに伴い、神田から、麻布、代々木上原、そして 1930 年代には現在の三鷹の地へと三度の移築を重ねました。関東大震災や東京大空襲を免れ奇跡的に生き延びた一畳敷の最後の所有者となったのが、戦後この一帯を開学の地とした国際基督教大学でした。

本展覧会では、今年が松浦武四郎生誕 200 年となることを記念し、数奇な運命を生き延び、現在、国の登録有形文化財「泰山荘」^{たいざんそう}の一角をなしてキャンパスに保存されているこのユニークな建物を、原寸模型と写真パネルで紹介し、その歴史的文化的重要性をひもときます。

展覧会名：松浦武四郎生誕二百年記念「ICUに残る一畳敷」

Bicentennial Anniversary of the Birth of Matsuura Takeshirō

The One-Mat Room at ICU

会場：湯浅八郎記念館 2 階 特別展示室

会期：2018 年 9 月 11 日（火）～11 月 9 日（金）

開館時間：火～金曜日 10：00～17：00／土曜日 10：00～16：30

休館日：日曜、月曜、祝日

（ただし 10 月 21 日は ICU 祭のため、午前 12 時から午後 4 時 30 分まで特別開館）

入館料：無料

展示資料：約 80 点

建物写真および解説パネル

和本『木片勸進』^{もくへんかんじん}（松浦武四郎著、1887 年/復刻 1908 年）

『泰山莊之記』^{たいざんそうのき}（高木文編、1936 年）ほか

松浦武四郎遺品（書簡、絵葉書帖、一畳敷残材ほか 松阪市松浦武四郎記念館所蔵）

建築図面 泰山莊ジオラマ（1/50） 一畳敷原寸模型

交通：JR 中央線三鷹駅および武蔵境駅より小田急バス「国際基督教大学行」終点下車

または武蔵境駅南口よりタクシー 10 分

関連イベント：

- 松浦武四郎生誕二百年記念シンポジウム「一畳敷の世界を探究する」

2018 年 10 月 6 日（土）13:00～16:30

会場：国際基督教大学ディッフェンドルファー記念館東棟講堂

基調講演：ヘンリー・スミス氏（コロンビア大学名誉教授）

パネリスト：山本命氏（松阪市松浦武四郎記念館主任学芸員）

三浦泰之氏（北海道博物館学芸主幹）

モデレーター：毛利勝彦氏（ICU 教養学部長）

総合司会：ウィリアム・スティール氏（ICU 名誉教授）

共催：松阪市 協力：三鷹市

聴講無料・予約不要・定員 400 名（先着順） 開場 12:00

- 一畳敷一般公開

2018 年 10 月 20 日（土）・21 日（日）（東京文化財ウィーク・ICU 祭期間）

見学は無料ですが、往復葉書にて予約が必要です。詳細は 8 月末、ウェブサイトで発表します。

お問い合わせ等は以下までお願いいたします。

国際基督教大学博物館 湯浅八郎記念館（担当 具嶋恵 ぐしまめぐみ）

〒181-8585 東京都三鷹市大沢 3-10-2

TEL:0422-33-3340 FAX:0422-33-3485 E-mail:gmegumi@icu.ac.jp

画像データ（カラー）をご入用の場合は、ご遠慮なくお申し付けください。



いちじょうじき

●一畳敷 外観 A



いちじょうじき

●一畳敷 内部 A



いちじょうじき

●一畳敷 内部 B



とこばしら く の う じ てっしゅうじ らんかん

●床柱（久能寺／現鉄舟寺の欄干）



うんりゅう

●天井板・雲竜（熊野本宮大社の扉）



いたぶち きっすい

●畳廻り板縁（吉水神社の板）



らん ま みくまり たまがき

●欄間（水分神社の玉垣の欄間）



こうふうきょ

●高風居 外観（右手の出張った部分が一畳敷）